

「蒲郡市まちづくりDX基本方針」パブリックコメント意見一覧(市の回答)

No	提出者	提出意見	意見に対する考え方
1	A	蒲郡は高校生まで医療費が無料となりました。これは近隣自治体では行われておらず子育て支援において強力な政策となります。これをもっとPRして子育て世代が蒲郡に越してくるようにした方がいいと思います。それに伴い若者も集まる街づくりが必要です。高齢者が多いのでどうしても高齢者向けの政策ばかりになりがちですが若者や子育て世代に向けた街づくりにしないといずれ衰退して消滅します。それには若者がわざわざ蒲郡へ足を向けようと思える物が必要です。お洒落な通りや大型ショッピングモールなど、既に周辺自治体では誘致に成功し様々な大型ショッピングモールができています。差をつけるならまだ東三河にはないイケアやコストコを誘致するのはどうでしょう？ 場所は竹島横の空いてるスペース、もしくはラグーナの空いてる土地がいいと思います。今後23号バイパスが繋がればアクセスも良くなります。さらに小さな子連れで安心して食事できる店が少ないです。ファミリーレストランを増やして家族で食事できる場所を増やして欲しいです。駅前アピタの2階を半分潰して大きなフードコートにする、クラスポの2階を全てレストランにするなど ファミリーレストランなら若者も入りやすいです。観光の面で言うならラグーナ(海陽町)の空き地をどのように利用するか、先ほどの大型店は誘致もいいですがここをドローンの聖地にするのはどうでしょう？ 現在ドローンは安全に飛ばせるところがありません。ラグーナなら空いてる土地があり埋立地なので周りに住宅ありません。思う存分飛ばすことができます。飛ばせる施設があり免許も取れ、さらに大会を開いてドローンをヨットに次ぐ第2の聖地にするといいと思います。ヨットは小学生か中学生のうちに授業で体験させるのもいいと思います。せっかくヨットの聖地なんですから市民が親しんで知識も持ってないと宝の持ち腐れです。私は接したことが無いのでヨットをやりたいとは思いますが経験があればやりたいと思う人も出てくるでしょう。子供がヨットの体験ができるってのも蒲郡の魅力アピールに繋がると思います。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 「蒲郡市まちづくりDX基本方針」は、デジタル技術を活用した「DXによるまちづくり」を様々な主体と共同で地域課題解決を目指すため、本市のDX推進に関する基本的な方針を示すために策定するものであり、企業誘致や子育て施策、観光事業やシティブロモーション等に関する具体的な施策は、本方針とは別の方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。 今回いただきましたご意見は、関係部署とも共有させていただきます。
2	B	下記にわたる内容が今回の趣旨に合っているのか分かりませんが、観光の街蒲郡市としてこんな街、こんな施設があったらいいなという事を提案させていただきます。 1.伊勢神宮や名古屋城にあるおかげ横丁の様な食べ歩き出来る施設を創る。例)「三河横丁」1)三河地区と言われる、蒲郡・豊橋・豊川・新城・田原・岡崎・豊田・安城などの名産を各市のブースで販売してもらう。例えばとして・蒲郡市・・がまごりうどん、みかんを使ったデザート等・豊橋市・・カレーうどん、ブラックサンダーを使った菓子・豊川市・・稲荷寿司 蒲郡市としてはブースの提供で出店内容はある程度のルールの中、各市の企画で出店してもらう。2)蒲郡市民に還元(出店市も各市でのサービス可)・平日に限り蒲郡市民はマイナンバーカード提出で、本人+1人入場料無料や、施設内で使用出来るチケット配布など 3)駐車場などにキッチンカースペースを設け、この施設に関係ない販売者も出店できる様にする。 2.国道23号線開通に合わせて道の駅を創る 1)竹島や夜景が見える場所に建設し、自称[日本一景色眺めの良い道の駅]をうたい文句とする。・問題点として夜景の綺麗な場所として夜間の人の出入りによる、施設などの管理に不安あり。2)市街に道の駅ならぬ海の駅として施設を創る。 以上、簡単ではありますが提案させていただきます。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 「蒲郡市まちづくりDX基本方針」は、デジタル技術を活用した「DXによるまちづくり」を様々な主体と共同で地域課題解決を目指すため、本市のDX推進に関する基本的な方針を示すために策定するものであり、観光事業や産業振興、シティブロモーション等に関する具体的な施策は、本方針とは別の方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。 今回いただきました、各施策についてのご意見は、関係部署とも共有させていただきます。
3	C	映画館の企業誘致をお願いします。蒲郡市の未来の為に映画館を含む 総合的な商業施設の建設をお願いします企業誘致は待つのではなく自らアピール してください。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 「蒲郡市まちづくりDX基本方針」は、デジタル技術を活用した「DXによるまちづくり」を様々な主体と共同で地域課題解決を目指すため、本市のDX推進に関する基本的な方針を示すために策定するもので、企業誘致に関する具体的な施策は、本方針とは別の方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。 今回いただきましたご意見は、関係部署とも共有させていただきます。

4	D	高齢化が進む中で高齢者が出来る仕事やボランティア活動を考え募集することで健康寿命を伸ばし市内を綺麗にして観光都市として栄えるようにしたいですね。私を含め高齢者は時間があっても金が無いという方が多いので市内活性化のために出来る事を考え提案することで住み良い蒲郡を作ってもらいたいと思います。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 「蒲郡市まちづくりDX基本方針」は、デジタル技術を活用した「DXによるまちづくり」を様々な主体と共同で地域課題解決を目指すため、本市のDX推進に関する基本的な方針を示すために策定するもので、健康増進や観光事業等に関する具体的な施策は、本方針とは別の方針・計画等に基づき進めるものと捉えております。 今回いただきました、各施策についてのご意見は、関係部署とも共有させていただきます。
5	E	保育料に関して、体調不良などで休園しても保育料を支払わなければならない理由が分からない。検索すると出てくるが国が月換算にしているからという理由も納得できない。保育園の洗礼と呼ばれる入園1〜3ヵ月のみ日割り換算にするなどできないのでしょうか。手続きや管理の問題でできないとかなら、できる仕組みを作ったりしてください。バイトでタイムカードで出勤時間管理できるレベルなら余裕だと思います。しかも、年間通して休む日数は出園日数よりも圧倒的に低いわけですから、なんの問題もないと思います。 <その他> 人口減少に対してほんとに真剣に考えてください。子育て世代に優しい街作りをしてください。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 「蒲郡市まちづくりDX基本方針」は、デジタル技術を活用した「DXによるまちづくり」を様々な主体と共同で地域課題解決を目指すため、本市のDX推進に関する基本的な方針を示すために策定するものであり、この度いただきました子育て施策に関する具体的なご意見は関係部署(子育て支援課)へ情報展開させていただき、本件における回答は差し控えさせていただきます。
6	F	蒲郡市まちづくりDX、非常に良い取り組みかと思いますが、その方針案について、以下コメントさせていただきます。 取り組み分野の選定ですが、暮らし、産業、行政の中で、それぞれ先行取り組み分野を指定しておりますが、どれも手段からの発想で、蒲郡市の課題からの発想が見えません。 蒲郡市の課題、人口減少、高齢化、活力の低下など重要課題を、暮らし、産業の分野で掘り下げていって欲しいです。テーマ選定においてもDX(デジタル技術で仕組みを変える)という意味で、市民からの声も反映させる場を設けたらどうでしょうか？ それを集めてきちんとしたKPI(達成度指標)を設け、そして評価においてもDX(市民による評価)を導入してフィードバックするなど、DX技術の導入を考えていくべきです。 施策の推進においてのみDXを進めるだけでなく、計画、評価までトータルで、DXで仕組みを変えることで、より良いものへとブラッシュアップして行って頂きたい。取り組み指針の中の、「目的と手段を取り違えてはいかん」、「蒲郡の意識をかえてこまい」のもと検討をお願いいたします。 特に産業分野については、観光に絞るのではなく、蒲郡の産業の活性化を目指し、ネットワークの経済性(異分野との連携強化)、スピードの経済性(変化への対応力)を支援できるようDXによる体制づくりを行って欲しいと思います。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 本方針の中で、本市の現状を踏まえ、先行して重点的に取り組むべき5分野を設定しておりますが、ご提案いただいている「人口減少、高齢化、活力の低下など」の課題につきましても、重要課題であると捉えております。今後は、「暮らしのDX」、「産業のDX」など各領域における課題ごとに、必要に応じたワーキンググループの設置なども検討していき、様々な方にご参画やご意見をいただける機会の創出に努めてまいります。またその工程においてもICT活用を検討し、本市の「まちづくりDX」推進に資する仕組み構築を目指してまいります。
7	G	1. 表紙タイトル「蒲郡市まちづくりDX基本方針」の下にまちづくりDXの定義である“基盤となるデータ整備やデジタル技術の活用を進め、まちづくりの在り方を変革することで都市における新たな価値創出又は課題解決を図ること”明確に表現して下さい。DXの定義もあわせて記述して下さい。(資料では、デジタル・トランスフォーメーションの名称で説明されたいです)	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。 1. DXの定義につきましては、広く一般的に、厳密に一致した定義はされていない中、本市としては、DXの概念として、「ICTの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」と捉えております。 また「「蒲郡市まちづくりDX基本方針」の下にまちづくりDXの定義である“基盤となるデータ整備やデジタル技術の活用を進め、まちづくりの在り方を変革することで都市における新たな価値創出又は課題解決を図ること”につきましては、本市まちづくりについて様々な主体と連携しながら、データ整備やICT活用により、基本理念に示しておりますような「あらゆる分野で人々がつながり、常識にとらわれない新たな価値を見出し、市民一人ひとりが豊かさを実感できるまちづくり」を目指していく考えを示しています。デジタル技術やデータ利活用をその有効な手段として、様々な主体との連携やまちの現状分析・課題発見に活用し、課題解決、魅力や価値創出につなげていくことを目指してまいります。

8	G	2. DXの呼称について DXの呼称を“ディエックス”とするのか“デジタル・トランスフォーメーション”とするのか、又表記を単に“DX”とするのかDX(デジタル・トランスフォーメーション)するのかを明確にして、表紙に明記下さい。	2.本方針でのDXの呼称は「ディエックス」、表記は「DX」で記載させていただきます。ただし「DX」を「ディエックス」「デジタル・トランスフォーメーション」とどちらの呼称を選んでいただいても、また「DX」の表記を「DX(デジタル・トランスフォーメーション)」と捉えていただいても、意味する内容は同義であると考えことから、表紙への記載は差し控えます。
9	G	3. 第1章策定の背景と趣旨に関しては理解できます。但し、「基本方針は……国及び県の関連計画を参酌し整合を図る。」とあるが「参酌」という言葉は不用で「関連計画との整合を図る。」で良い。	3.「参酌」の表現につきましては、本市として国及び県の関連計画の参考とすべき事項を反映し当方針との整合を図っていくこととするため、「参酌」の言葉を省くことなく掲載させていただきます。
10	G	4. Mission(基本理念)、Vision(取組目標)、Value(取組指針) とあるが、英語表記は不用。特に、Valueと取組指針は辞書引かないと理解できません。	4.「Mission(基本理念)、Vision(取組目標)、Value(取組指針)」につきましては、デジタル庁の取組を参考にしております。英語表記に加え日本語表記を補記することで誰にでも分かりやすい表現を目指しています。
11	G	5. 基本理念を「あらゆる分野で人々がつながり、常識にとらわれない新たな価値を見出し、市民一人ひとりが豊かさを実感できるまちづくりを目指して」とあるが、「常識にとらわれない新たな価値」は意味不明です。単に、新たな価値でよい。	5.「常識にとらわれない」という表現を加えることで本方針の基本理念や「変革」に向けたDXの意義を強調しています。「常識にとらわれない新たな価値」を変えることなく掲載させていただきます。
12	G	6. 基本理念・取組み目標・取組み指針・取組み目標と基本理念が重複しています。取組み目標は①具体的に②数値を入れて③3つつ程度の目標掲げるのがベター	6.本方針につきましては、本市のDX推進に対する基本的な考え方を示すものであり、具体的な数値・目標については、課題の整理と取組の実証を行う際に検討してまいります。
13	G	7. 取組指針は、論外 再度考えて下さい。・多様な幸せを考えて行動しりん！ ・目的と手段を取り違えてはいかん ・みんなで協力し、蒲郡市を盛り上げていこまい！ ・失敗を恐れず、未来へチャレンジしつつけまい！ ・蒲郡市の意識をかえてこまい！ ・誰一人取り残されんDX！ 理由 ① 蒲郡市生れの蒲郡市育ちの市民だけのDXではない。三河弁を使うことに違和感あります。又、しりん、いかんは強制的な物言いです。② 内容も行動に結び付く具体性もなく観念的な合い言葉でしかない。これからこのフレーズがいたるところで目に入るとなると冷めた目で見れば「勝手にやってみりん」、今風に言えば「何で三河弁、わけわからん」という事になりませんか。③ キャッチコピーの「未来、広がる、進みだす、DX蒲郡」というフレーズとのギャップあります。④ コンソーシアム委員の理解が得られたとは思えない。もし理解が得られているとするなら次回コンソーシアムで会長より発表いただきたい。(議事録に誰一人取り残されんという表現はSDGsに合わせたらいとの意見有り)	7.三河弁を用いた「取組指針」につきましては、蒲郡市役所若手職員で実施したワークショップの中で、この方針が市民に身近なものと感じてもらえるよう市民が慣れ親しんだ「三河弁」を用いることが良いのではと発案され、コンソーシアムでの賛同を得ておりますことから、表現の変更は行わない考えです。
14	G	8. 産業のDXについて 取組分野において先行分野の現状と課題⇒想定される取組みの例で記述されていますが、肝心の課題(問題)の原因が明らかになっていません。ここを明らかにしないとパブリックコメントしようがありませんし、取組み効果が期待できないと思われます。	8.課題の原因につきましては、各取組分野における課題を整理するための部会を設け、課題の分析・把握に取り組んでまいります。
15	G	9. 観光のDXについて 現状と課題において、団体客の減少、動向データ取得、回遊性の悪さ等々の問題はコロナ以前から既に顕在化していた問題です。DX推進は今までの「補助金交付政策」「補助金頼み体質」から脱皮する機会です。・5月5日のディズニーパレードに8万人が集まったとの報道がされました。どのような科学的な手法で8万人を数えたのか、どこから来たのか、年齢層の割合は等、貴重なデータを収集する今後、あるかどうか解らないビッグチャンスはどう生かしたのか公表が待たれます。	9.本方針につきましては、本市のDX推進に対する基本的な考え方を示すものであり、ご指摘いただいた観光分野における個別・具体的な課題は、担当課(観光まちづくり課)へ情報展開させていただき、本件における回答は差し控えたいと考えますが、ご指摘いただきましたとおり、データを利活用し、各施策への反映ができるよう本事業においても取り組んでまいります。
16	G	10. 行政のDX・データの活用 現状と課題を見る限りその原因は根が深そうです。組織というかむしろ風土にその因があると思われます。従って、原因を把握、公表してパブリックコメントを求めるべきと考えます。	10.「行政のDX」につきましては、人口減少や高齢化などによる行政運営における経営資源の制約が見込まれる将来においても行政サービスを落とすことなく、持続可能な体制づくりができるよう、引続き現状分析・課題解決に取り組むとともに、ICT活用による業務最適化に努めてまいります。また公表の機会を捉え、積極的な情報発信・開示に努めてまいります。

17	G	11. 推進体制コンソーシアムについて異議あります 一つは、何故、推進委員会ではなくて聞き慣れないコンソーシアムなのか 二つ目は、「蒲郡市まちづくりDX推進コンソーシアムを設立します」という記述には、かなり違和感があります。既に設立されて、2回会議が開催されて幾つかの提言がされているのに、「設立します」という表現は正しくありません。コンソーシアムの目的を明確にして「設立した」という表現に修正下さい。三つ目は、その透明性、公正公明性、倫理性の確保です。デジタル庁はデジタル社会形成のため以下の基本10原則を挙げています 1. オープン・透明 2. 公平・倫理 3. 安全・安心 4. 継続・安定・強靱 5. 社会課題の解決 6. 迅速・柔軟 7. 包摂・多様性 8. 浸透 9. 新たな価値の創造 10. 飛躍・国際貢献 特に、1. オープン・透明 2. 公平・倫理 に徹底していただきたい。過去、2回のコンソーシアム会議議事録を見る限り、要旨ということで全てが開示されていません。第3回からは全てを公開することを前提とした議事とし全ての発言(特に市側)を網羅した議事録を切望します。もし3回目も同レベルの議事録であれば、行政DXの課題の原因と思われる「閉鎖性・忖度性」という風土からの脱却ができない事と推測します。“蒲郡市の意識をかえてこまい！”を実践して下さい。第2回DX推進コンソーシアム資料5pに「行政の透明性を確保」との記述があります。確保の担保として「公開することを前提とした議事とし全ての発言(特に市側)を網羅した議事録」の作成、公開を宣言いただきたい。四つ目は、市長挨拶で、本日お越しいただいている民間企業、民間団体、市民、大学など、さまざまな主体が関わりあってまちづくりDXを進めていきたい。と言われましたがメンバーに市民代表が入っていません。	11.一つ目につきまして、コンソーシアムとは、「共通の目的を持つ複数の組織が協力するために結成する共同体」という意味があり、本取り組みとしましては、様々な主体と共同で取り組む体制を目的としているため、「コンソーシアム」という表現とさせていただきます。二つ目につきまして、ご指摘いただきましたとおり、コンソーシアムについては令和5年度において既に2回の会議が開催されており、「設立しました」表現に改めます。コンソーシアムの目的については、方針に記載のとおりです。三つ目、議事録につきましては「蒲郡市会議録の作成及び公開に関する要領」に基づき、市民の皆さまに分かりやすい表記となるよう、要点記録の方法を用いております。引続き、市民の皆さまに分かりやすく、かつ積極的な情報開示に努めてまいります。四つ目、コンソーシアム委員については他会議体においても様々な市民の方との接点の多い方々にご参画いただいております。また今後は課題ごとに、必要に応じたワーキンググループの設置なども検討していき、様々な方にご参画いただき、ご意見を聴取する機会創出に努めてまいります。
18	G	12. 推進のステップ 課題の整理から取組検討に入る前に問題の原因把握のステップを入れていただきたい。	12.「原因把握のステップ」につきましては各取組分野における課題を整理する場において、原因把握に取り組んでまいります。
19	G	13. 市民に直接関心のある総務省による自治体フロントヤード改革への取組みを方針に入れていただきたい。例えば、行政手続きのオンライン化は進んでいますが、電子申請可能な手続きの一覧は1シート(画面)ではなく5シートに分けられ必要な申請書等を探すのに時間がかかります。しかも、この検索システムは、トップページではなく企画部デジタル行政推進課から入るようになっていて利用者視点からのデジタル化になっていません。それ以外にも、住民スペースの拡大、リモート窓口、ワンストップ窓口、セルフ末端等々の推進、又、デジタル弱者へのサポート等市民に寄り添った対策も付け加えて下さい。お願い コンソーシアムでの質問「パブリックコメント以外で、そういった方々のご意見をヒアリング・集約していくような動き(ワークショップなど)をすることは可能か」に対して、事務局の回答は、「現状想定はないが、必要に応じてそういったタイミングがあれば実施していきたい」というものでした。この、回答は、蒲郡市のパブリックコメントの実態(極めて少ない)を承知の上でのものであれば残念な回答です。パブリックコメント制度を市民の意見を聞いたというアリバイづくりに利用しているという疑念がわきます。積極的に町に出て意見を聞く姿勢が望まれます。	13.本方針につきましては、本市のDX推進に対する基本的な考え方を示すものであり、具体的な取組みについて課題の整理と取組みの実証を行う際に検討してまいります。また、いただきました「お願い」について、先述のとおり、今後は課題ごとに必要に応じたワーキンググループの設置なども検討していき、様々な方のご参画とご意見をいただける機会の創出に努めてまいります。